



地方部における観光コンテンツの充実のためのローカルガイド人材の持続的な確保・育成事業

事業目的・背景・課題

- 地方誘客の目的となる地域の歴史文化・自然・暮らし・伝統等を感じられる体験型コンテンツについては、その地域の歴史文化・自然・暮らし・伝統といった地域の魅力を伝えるガイドが必要。OTAに掲載されている口コミにもガイドに対する評価を記載している場合も多く、ガイドの質はコンテンツの質に直結。満足度の向上、深い体験価値を提供することでの消費単価の向上や、それらによる地域社会と観光の好循環の構築に質の高いガイドは重要。
- 一方、地方部においては、地域独自のガイド認定制度の構築や人材育成プログラムの構築によって先進的な取組を行う地域が現ってきたものの、ガイド報酬の低さや繁閑差によって通年での就労が困難等の構造的な課題も相まって、総じてガイド人材の確保に苦慮している状況。ガイドの不足は観光コンテンツのサービス供給にも直結し、造成したコンテンツの自走化や持続的な経営への影響も懸念されることから、人材が限られる地方部において、ガイド人材を無理のない形で持続的に確保・育成することが必要。

事業内容

- 地方部でのガイド人材の持続的な確保・育成や、消費単価の向上、オペレーションの改善等により、体験型コンテンツの持続的な供給や地域消費の向上へと結びつけた、地域一体となり総合的に取り組むモデル地域を選定・支援。

① ガイド人材の確保・育成を核にした地域一体的なビジネスモデル構築事業（調査事業）（1件あたり上限20百万円）

② ローカルガイドの質の向上に必要な設備導入・物品購入等（補助事業）（1件あたり上限10百万円）

事業スキーム

① 事業形態：直轄事業
請負先：民間事業者→民間事業者・地方公共団体・DMO等
事業期間：令和7年度～

② 事業形態：直接補助事業（補助率1/2）
補助対象：民間事業者・地方公共団体・DMO等
事業期間：令和7年度～

事業イメージ

ガイド人材の不足

数の不足

スキルの不足

体制の不足

地域特性・ガイド分野等に応じた総合的な取組支援

観光資源・人材・商流等の調査・現状整理

地域において必要なガイド人材・スキル・経営戦略検討

担い手拡大・確保
研修、オペレーション改善・効率化等

ガイド育成・質向上
報酬・品質評価制度の仕組み構築等

安定的な需要づくり
ガイド供給量可視化、マッチングシステム導入

就労環境改善
オフシーズンコンテンツ、価格設定の見直し

コンテンツの磨き上げ
人材育成と一体的なコンテンツ造成・磨き上げ



ビジネスモデルの構築

満足度・消費単価向上
地域社会と観光の好循環



補助対象経費・実施スケジュール

補助対象経費

特に地方部において、観光コンテンツの供給、コンテンツの質及び満足度、地方誘客の促進並びに消費単価の向上に直結する地域の魅力を伝えるガイドの不足という課題に対応するため、**地域特性等に応じ、地域一体となってローカルガイド人材の持続的な確保・育成に総合的かつ戦略的に取り組む際に必要な①既存施設等の改修・整備、②設備・備品の購入に要する経費**を補助します。

事業具体例

①既存施設等の改修・整備

ツアーデスク・拠点の設置に要する経費

例) ガイドツアーの現地予約や決済機能を備えた観光案内拠点への改修



例) ガイドによる体験型コンテンツの提供を可能とする施設整備



提供：M&Company

②設備・備品の購入

安全管理やガイディングの改善・向上、オペレーション改善・効率化、ガイド供給量の可視化及びマッチング等のシステムの整備（ローカルガイド人材情報の把握・整理を含む。）に要する経費

例) ガイドと体験商品事業者を繋ぐWEB上のマッチングシステムの構築

（掲載するガイドの得意分野・稼働意向等の情報の調査・整理含む）

例) ガイディングの改善を目的とした無線ガイドシステム等の機材購入



例) 体験型コンテンツ販売促進のためのWEB決済・予約システムの導入



※以下に挙げるものは対象外経費となります。その他にも対象外となる経費がありますので、必ず公募要領をご確認ください。

- ・耐用年数3年以上未満
- ・本事業に直接関係のない経費
- ・コンテンツ自体の造成費用
- ・経常的な経費（人件費、旅費、事務所等に係る家賃ほか）
- ・既存物品の買い替え（同レベル機能の場合）に係る経費
- ・消耗品に該当する経費 等

実施スケジュール（予定）

公募
（～9月19日）

採択結果公表
(10月中旬)

交付決定・事業開始
(11月中旬)

事業完了
(～2月末)